

学習内容報告書フォーマット

学校名	東大和第五小学校
授業者	渡辺 清

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

「自然とともに生きる トウキョウサンショウウオを守ろう！」

1-2. 学年

第6学年

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

理科

1-4. 単元の概要

ヒトや他の生物と環境がどのように関わっているかを調べたり、身近な環境問題を調べたりして、生物との関わりについての考えをもつことができるようにするとともに、自然を大切にしようとする態度を育てることを目標とした単元である。

本単元では主として次の学習を柱としている

- ・自然とともに生きるとはどういうことかを理解する
- ・わたしたちの生活と環境との関わり
- ・わたしたちのくらしと環境との影響や
- ・自然とともに生きるための取り組みを調べたり、自分のできることを考えて実践したりする

1-5. 単元設定の理由・ねらい

第3学年からの理科学習の集大成として、学んできた内容を自分に結びつけてとらえ、自分にできることを考える単元である。

SDGsを含めて、「共生」についてインターネットを活用して調べることで知識を広げることも大切な学習となる。

同時に、身近な問題からより切実に自分できることを考えることはより重要となることから、本単元を設定した。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

小学校の理科学習の最後に、既習事項をいかしながら身近な環境問題に興味をもち、進んで調べ、自分にできることを考えて実践する気持ちや行動力を育てたい。

1-7. 単元の展開（全4時間）

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1 2	<p>○自然とともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウキョウサンショウウオの保護活動について知り、トウキョウサンショウウオの観察を通して愛着を深め、身近な環境を大切にしようとする心情を育てる。 ・「自然とともに生きる」とはどのようなことなのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中自粛となったが、トウキョウサンショウウオの保護活動に関わるM氏(娘さんとお孫さんが本校の卒業生)をゲストティーチャーとして迎えたい。 <p>(トウキョウサンショウウオ、虫めがね、解剖顕微鏡、シャーレ等)</p>
3	<p>○わたしたちの生活と環境</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちの生活は、環境とどのようにかかわり合っているのかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナイトアース(夜の世界地図)」から電力消費の片寄りやエネルギー自給率等に視点を向かせる。 <p>(ナイトアース、世界地図、地球儀等)</p>
4	<p>○環境への影響</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちのくらしが、環境にどのような影響を与え、そのような影響を与えられたりしているかを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・風力発電のしくみの理解から、代替燃料について考えを深める。 <p>(石油精製サンプル)</p>
5 6	<p>○自然とともに生きる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしたちは、どうすれば、環境を守りながら、よりよい生活を続けていくことができるのだろうかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「共生」について「調べたこと」や「考えたこと」さらには「自分にできること」を「行動宣言」としてまとめ、M氏へのお礼として贈る。

2. 学習活動の実際

トウキョウサンショウウオの保護活動家からのレクチャーや観察を通して、トウキョウサンショウウオへの愛着が湧いた。そのトウキョウサンショウウオが棲息する身近な環境を守るためにはどんなことが大切なのか、どんな活動が可能なのかと調べた。そして、自分にできることを「行動宣言」にまとめた。

2-1. 単元における位置づけ



単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

トウキョウサンショウウオの観察を通して、トウキョウサンショウウオへの愛着を深め、保護飼育への意欲を高める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動/反応	教師の指導・支援 / 評価の視点 (方法)
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin-bottom: 10px;"> トウキョウサンショウウオを守ろう！ </div> <p>○トウキョウサンショウウオについて知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東大和市が棲息の限界地点であることを知る ・保護活動家の存在を知る (紹介する) <p>○トウキョウサンショウウオの観察をする。</p>   <p>○トウキョウサンショウウオとの出会いを学習感想にまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・トウキョウサンショウウオの保護活動に関わるM氏の説明から学ぶ。  <ul style="list-style-type: none"> ・エラや手足の特徴に気付かせる。 (トウキョウサンショウウオ、虫めがね、解剖顕微鏡、シャーレ等) ・比較の対象として「五小水族館」で飼育している「ウーパールーパー(成体になってもエラが引っ込まない)」が活躍した) ・トウキョウサンショウウオの保護飼育への意欲を高めるとともに、身近な自然環境を大切にしようとする心情を育てる。 <p>{評価} (主体的な学び)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トウキョウサンショウウオでの出会いを通して、身近な環境に主体的に関わり大切にしようとする。

3. 今回の活動の自己評価

- ・東京都内では豊かな自然環境に恵まれている本校の児童であるが、身近だけにそれが当たり前となり、認識できていない実態がある。「トウキョウサンショウウオ」が棲息できる都内寄りの最後の「市」であることを知ることで、豊かな自然に恵まれていることを再認識できていた。そして、だからこそ、その豊かな自然を守ろうとする意識を高めることができた。
- ・また、より身近で、より直接的な「トウキョウサンショウウオ」の保護飼育に携わったことで、本単元でのまとめに「行動宣言」等においても、保護飼育以外の行動に関しても「自分にできることを」考えようとしていた。
- ・従前から実施していた「野火止用水のホタルを守ろう！」という活動と併せて、「五小水族館」がシンボルとなっている本校の教育活動に定着させたい。

4. 今後の課題

- ・保護活動家のM氏は高齢である。M氏による保護活動自体が危ぶまれている。
- ・生き物の飼育を伴う活動である。「五小水族館」の整備の一環として、6年生の「水族館係」と連携して児童が積極的に飼育を楽しんだが、通常のお世話等に手間がかかるのは事実である。
- ・トウキョウサンショウウオの生息場所は市内とはいえ、全学年の児童で放流に行くには遠距離である。コロナ禍の中、放流に代わってM氏に引き渡すという方法としたが、棲息場所への放流なり、棲息場所の見学は実施したい。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点

「トウキョウサンショウウオ」自体は淡水の湿地帯に棲息する。「海洋」に直結する題材ではないので、結び付ける配慮が重要となる。本実践では「全ての水系は海に通じる」という観点から、上流域(中流域)での環境保全の大切さに気付かせた。

また、本校は学区域に清流復活で名高い野火止用水が流れている。4年生の時に見学に出かけた多摩川からの玉川上水等、身近な存在として

直接の「川」ではない自然環境がトウキョウサンショウウオの棲めない場所になったとしたら、海にも悪影響が及ぶという視点を確認することは重要である。